

1 法人の概要

代表者職氏名	代表取締役社長 門脇 光浩	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
所在地	仙北市田沢湖玉川字渋黒沢国宥林3014林班	設立年月日	平成3年10月22日
電話番号	0187-58-3130	ウェブサイト	—
主な出資 (出捐)者	出資(出捐)者名	出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県	5,000	50.0%
	(株)玉川温泉	3,100	31.0%
	仙北市	1,000	10.0%
	(株)玉川温泉ケアハウス生命の泉	900	9.0%
	合計	10,000	100.0%
設立目的	秋田県のリゾート構想に基づき、玉川重点整備地区に民間宿泊施設及び自然公園施設が整備されることから、地区内の県有基盤施設の維持管理や給排水・給排湯施設の整備運営等を目的に、秋田県、仙北市、進出企業の出資により平成3年10月設立。		
事業概要	新玉川リゾート地区進出企業に対する玉川温泉の源泉供給管理及び給排水施設の運営管理、県管施設の指定管理等。		
事業に関連する法令、県計画	「北緯40度シズナルリゾート秋田」計画(指定区域)		

2 平成30年度事業実績

営業施設が新玉川温泉のみであることから水道単価の値上げを行い、増収となった。
水道関連施設については、非常用発電機の部品供給停止により非常時対応できる体制を整えるため、修繕計画を変更して優先的に工事をを行い、事業の安定性に努めた。

<事業目標>

項目	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ビジターセンター来場者数(人)	目標	10,000	10,000	9,000	10,000
	実績	9,882	8,004	10,022	—
給水量(m³)	目標	119,600	98,000	110,000	110,000
	実績	114,813	105,527	117,591	—
顧客満足度指数	目標	85	86	86	87
	実績	86	86	91	—

3 組織

① 役員数(R1.7.1現在) (単位:人)

区分	取締役		監査役		役員報酬
	H30	R1	H30	R1	
常勤	1	1			支給対象者 (H30年度) — 人
内、県退職者					
内、県職員					
非常勤	4	4	1	1	平均年齢 54 歳
内、県退職者					平均報酬年額 (H30年度) — 千円
内、県職員	1	1			
計	5	5	1	1	
内、県関係者	1	1			

② 職員数(H31.4.1現在) (単位:人)

区分	H30	R1	正職員
正職員			
内、県退職者			
出向職員	1		平均勤続年数 — 年
内、県職員			
臨時・嘱託	1	1	平均年収 (H30年度) — 千円
内、県退職者			
計	2	1	
内、県関係者			

③ 取締役会回数

平成29年度	4	平成30年度	5
--------	---	--------	---

4 財務

① 損益計算書 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度
売上高	27,389	29,622
売上原価		
売上総利益	27,389	29,622
販売費及び一般管理費	27,235	29,192
人件費(売上原価含む)	5,778	5,733
営業利益(損失)	154	430
営業外収益	2	2
営業外費用		
経常利益(損失)	156	432
特別利益		
特別損失		
法人税、住民税・事業税	103	167
当期純利益(損失)	53	265

② 貸借対照表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度
流動資産	25,156	24,924
固定資産	777	388
資産計	25,933	25,312
流動負債	15,144	14,258
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	15,144	14,258
資本金	10,000	10,000
利益剰余金等	789	1,054
純資産計	10,789	11,054
負債・純資産計	25,933	25,312

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)
	0	0	

<主な経営指標>

項目	算式	平成29年度	平成30年度	増減※
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	100.6%	101.5%	0.9
流動比率	流動資産÷流動負債×100	166.1%	174.8%	8.7
自己資本比率	純資産計÷負債・純資産計×100	41.6%	43.7%	2.1
有利子負債比率	有利子負債÷純資産計×100			

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。(単位:千円)

5 県の財政的関与の状況 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度	支出目的・対象事業概要等
年間支出			
補助金			
委託費	4,665	4,818	基盤施設維持管理業務及び基盤道路除雪業務
指定管理料	4,667	4,724	県営玉川温泉ビジターセンター指定管理
年度末残高			
貸付金			
損失補償			
その他の財政支出(基金等)			

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 秋田県の「北緯40度 シーズナルリゾート秋 田」の地域指定を受 け、秋田県で整備した 施設の維持・水道事業 の運営管理を行って おり、公共的な役割を 担っている。	A 主たる業務と兼務であ るが、組織体制は整っ ている。取締役会を法 定回数開催している。	A 事業目標であるビジター センターの来場者数、給 水量、顧客満足度は全て 目標を上回っている。	A 今期は増収増益であり単 年度黒字を達成し、累積 損失もない。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 県のリゾート構想に基 づき新玉川地区に整備 をした施設の維持管理 を行っており、また同 地区の施設に対して上 水道の供給を行うな ど、公共的役割を担っ ていると認められる。	B 取締役会は5回開催さ れており、法定回数を 満たしている。常勤の 役員及び職員がおり体 制は整っている。	A ビジターセンター来場者 数、給水量及び顧客満足 度指数の全てにおいて目 標を上回っている。	A 単年度の経常損益が黒字 であり、累積損失もない ことからA評価とする。

III 外部専門家のコメント

前年度は減収だったが、今年度は水道単価の値上げ等により売り上げ水準は戻った。事業目標も入館者が大幅に伸びるなど、いずれもクリアしている。利益水準は低いが、営業利益・当期利益ともに大きな変動はなく、現状は安定経営である。また借入金もなく目立った負債もないので財務基盤も安定しているが、剰余金の金額は1,054千円と少なく、まだ十分な水準とはいえない。来季の事業計画でポンプの交換工事や取水場の改修工事を予定しているが、27年度に14百万円あった設備積立金は29年度にはなくなり（30年度は設備修繕預り金が3百万円ある）、修繕積立金も前期より約3百万円減少して、今年度末現在は6,749千円と徐々に減少してきている。今後も引き続き修繕計画が重要となる。

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 三セクの行動計画上は 「県出資の経緯や県の 施策上の問題等によ り、直ちに県関与の縮 小・廃止を図ることが 困難な法人」に位置づ けられている。県が策 定したリゾート構想に 基づき、指定地域内の 施設に対する水道及び 温泉の供給等を行っ ており、引き続き安定 した事業実施が望まれ る。	B 常勤の役員がおり、 組織体制は整ってい る。 充て職員がおり、今 後も、充て職員の適 切な関与が期待され る。	A 事業目標は、ビジターセ ンター来場者数、給水 量、顧客満足度指数の3 項目とも達成している。 引き続き、安定した事業 の実施が望まれる。	A 少額ながら、単年度での 経常黒字を連続して確保 しており、累積損失もな い。 将来的な施設修繕を見越 し、修繕費等の負担に備 えていくことが求められ る。

V 前年度委員会評価

1 公共的役割	A	2 組織体制	B	3 事業実施	A	4 財務状況	A
---------	---	--------	---	--------	---	--------	---

評価結果を受けて実施した経営健全化に向けた取組（概要）

営業施設が新玉川温泉のみであるため、水道料の単価を値上げし収入の確保を図った。
支出面においては、浄水場の非常用発電機の交換が必要になったことから、水道事業の運転に必要な修繕は行いつつ修繕計画の一部見直しを行った。